



歯科口腔外科症例検討会について

演題 睡眠時無呼吸症候群と口腔内装置
 日時 平成 28 年 3 月 16 日 (水) 19:30~21:00
 会場 多摩北部医療センター 2 階大会議室
 演者 多摩北部医療センター 歯科口腔外科医長 潮田高志
 申込 当センターの地域医療連携室へご一報ください。



市民公開講座について

演題 糖尿病の心臓を長持ちさせるには～食事のポイントもお伝えします～
 日時 平成 28 年 3 月 26 日 (土) 10:30~12:00
 会場 東村山サンパルネコンベンションホール 2 階
 演者 多摩北部医療センター 院長 循環器内科 上田哲郎
 申込 参加費無料。申込不要。



《C@RNA システムの WindowsXP 端末更新依頼について》

貴施設で WindowsXP 端末にて C@RNA システムをご利用の場合は、平成 28 年 7 月以降 WindowsXP 端末で使用ができなくなります。WindowsVista 以降の O/S を搭載した端末への更新をお願いいたします。

本件に対するお問い合わせは、以下へご連絡いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

富士フィルムソフトウェア株式会社 C@RNA Connect お客様窓口

電話番号:045-476-8920 営業時間:月~金曜日の 9:00~18:00 (祝日・年末年始を除く)

紹介・予約のご案内

患者さんのご紹介にあたっては「紹介状 (診療情報提供書)」と「受診科のご予約」をお願いいたします。また、紹介状には受診科の明記をお願いいたします。初診時に紹介状が無い場合は、診療費の他に選定療養費として 1,338 円 (税込) が加算されます。

予約センター

予約専用電話:042-396-3190-3511

予約受付時間:月~金曜日 9時~19時・土曜日 9時~12時

※お急ぎや受診予約希望や、受診に関してご相談等の場合は、地域医療連携室までご連絡ください。
 (受付時間:月~金曜日 9時~17時)

各種検査予約

代表電話番号:042-396-3811

放射線

代表番号より下記へご連絡願います。(受付時間:月~金曜日 9時~17時)
 CT・一般 X 線検査:内線 2236 MRI 検査:内線 2600
 核医学検査:内線 2140 放射線治療:内線 2073・2169

内視鏡

工事期間中 (平成 28 年 2 月~同年 3 月) は、地域医療連携室 (内線 2073) へご連絡願います。(受付日時:月~金曜日 9時~17時)



《 地域医療連携ニュース「たまほく」に関するお問合せ 》
 地域医療連携室 042-396-3811 内線 2073



たまほく

平成 28 年 3 月



特発性正常圧水頭症とは

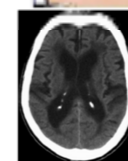
脳神経外科 部長 岡田隆晴



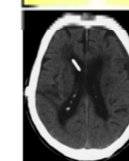
高齢者にみられる原因不明の水頭症であり、歩行障害、認知症、失禁を 3 徴候とする。一般的に、認知症の治療は困難だが、本疾患はシャント手術により改善する治癒可能な認知症である。以前はまれな疾患とされていたが、最近の研究で特発性パーキンソン病より頻度は高いと判明した。

しかし、歩行障害、認知症、失禁は高齢者にはありふれた症状である。これといった症状の特徴もないので日常診療で見つけ出すのは簡単ではない。歩行障害は増悪軽快を繰り返しながら緩徐に進行するが、年のせいだと放置されたり、他疾患と混同されたりする。

【図 1】
73 才男性



手術前
つかまり歩行
脳室拡大



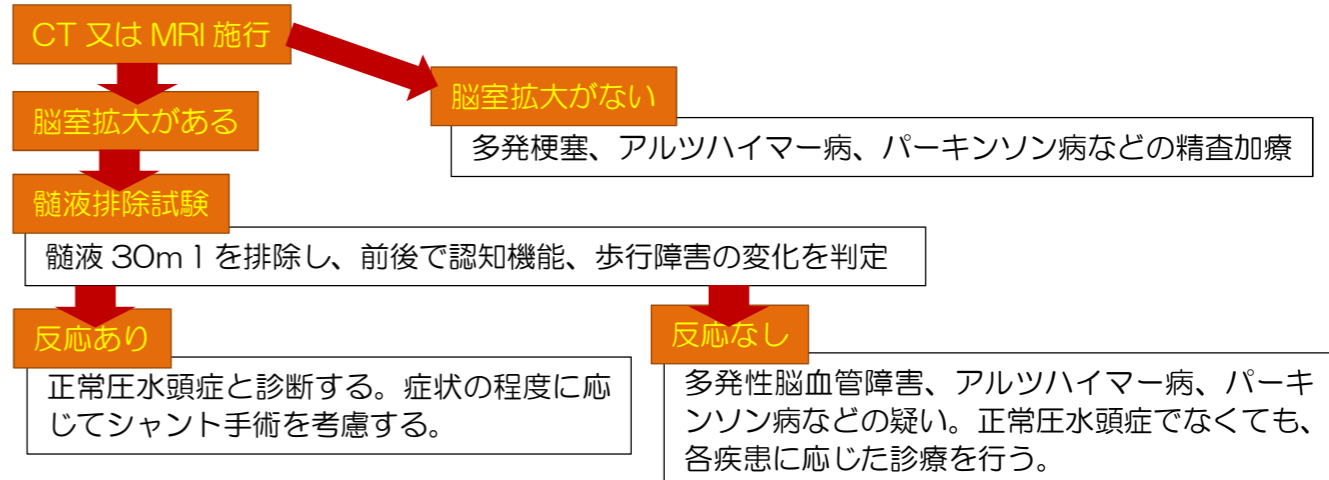
手術後
杖なし歩行
シャント後脳室縮小

分かりやすい症状が歩行障害である。写真は手術により改善した症例であるが、術前はつかまり歩行であったが術後に独歩可能となった。(図 1)

【正常圧水頭症外来】

3 徴候のうち、歩行障害だけを有する症例も少なくない。正常圧水頭症外来では「歩みにくさを訴える高齢者」を対象に診療を行っている。当科での診療指針を図に示した。

対象患者:65 才以上で、歩行障害だけ、あるいは歩行障害と、認知症または失禁を持つ





地域で治療し、地域で見守る たまほく婦人科がんチームの使命です



婦人科 部長 工藤一弥

今年1月、全国のがん治療施設(全がん協)での、がんの10年後の生存率が発表されました(図1)。婦人科がんをみると、子宮体がん(青線)、頸がん(赤線)は、治療後5年を過ぎれば、生存率はほぼ横ばいになりますが、卵巣がん(緑線)では、5年を過ぎてからも、さらに10%近くの方が亡くなっていて、治療のむずかしいがんであることがわかります。特に卵巣がんでは、長年にわたって経過をみていく必要があるのです。

私たちたまほく婦人科がんチーム(写真1)は、地域で適正ながん治療を提供し、治療後もしっかりと、地域で見守っていくことが、何よりも大切と考えています。

たまほくには、婦人科がん治療に必要な人と機能(熱意ある婦人科腫瘍指導医とその仲間、高度婦人科手術の多くの実績、常勤の画像診断専門医、病理診断専門医、放射線治療専門医、病棟薬剤師、通院化学療法治療室等)と、その後も見守っていくための人と機能(腫瘍専門外来、思いやりある看護師、医療秘書、メディカルソーシャルワーカー、多くのピースプロジェクト履修医師看護師、ほか、すべての医療スタッフ)とが揃っています。近隣にも協力して下さる医療施設の先生がたくさんいらっしゃいます。

病院内外の力を結集して、地域で治療し、地域で見守る。これが、たまほく婦人科がんチームの使命です。

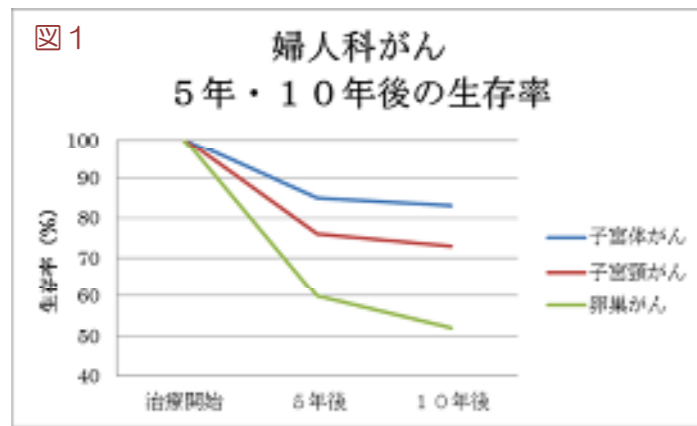


写真1



連携栄養指導行っています！

連携医の先生からのご依頼を受け、生活習慣病(糖尿病、高血圧、慢性腎臓病等)や特定健康診査により食事指導の対象とされた患者さん、小児食物アレルギー等に対する個別栄養食事指導を当院の管理栄養士が行います。詳細は当院ホームページをご覧ください。

<<http://www.tamahoku-hp.jp/institutions/eiyou.html>>



QRコード



栄養指導風景



当院における 最近の放射線治療



放射線科 部長 永島淳一

地域支援医療機関の先生方には、日頃より放射線治療患者さんのご紹介ありがとうございます。平成27年(1-12月)は新患数138人、治療部位147ヶ所の治療を行っています。内訳(部位数)では、前立腺64(44%)、乳腺18(12%)、リンパ腫16(11%)、骨(転移)14(10%)、婦人科領域13(9%)、口腔外科領域13(9%)、胆管・膵5(3%)、食道2(1%)、脳1、膀胱1であり、昨年と比較して、上位はあまり変わりませんが、婦人科並びに口腔外科領域への治療が増加しています。

また、強度変調放射線治療(IMRT)は平成24年6月から開始して3年半経過し、平成27年は全体の96人(70%)に施行され、治療件数も順調に増加しています。主に前立腺をはじめとし、子宮など骨盤内臓器+リンパ節や頭頸部領域における治療にその威力を発揮し、有害事象を極力抑えつつ精度の高い放射線治療を行っております。

最近では、患者さんご自身でがん情報サイトや支援ネットワークなど調べられて、当科を受診される方も増えてまいりました。多摩地区における放射線治療の一端を担えるようまた患者さんのご期待に副えられるよう努力したいと存じます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

《各種検査予約方法》

代表番号(042-396-3811)より下記へご連絡願います。

検査名	内線	受付時間
CT・X線・骨密度測定	2236	月～金曜日 9時～17時
MRI	2600	
核医学	2240	



地域医療連携室長より



副院長 阿部和也

当院は電子カルテを導入しており、私は「システム屋」としてその担当もしておりますが、毎回の診療報酬改定には泣かされます。点数が変わるだけではなく、算定のロジックまで変更になるからです。クリニックの先生方も電子カルテを導入されている場合は、同じようなご苦労をされているいらっしゃる方もおいでだろうと思います。

今回の診療報酬改定では、医療施設間の役割分担がますます明確になり、病診連携・病病連携をさらに推し進める必要が生じています。もちろん連携を強化することに異存はないのですが、難しいのは役割分担の調整です。役割が重なる場合もあれば、どちらの役割にも含まれていない場合もあります。今後、先生方と話し合いを重ね、理想の連携を追い求めていきたいと、気持ちを新たにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。